

## 「安全は心と時間のゆとりから」

国民・県民・市民なによりも国の宝である子どもたちをバス事故から守るため、通園バス運転手は、幼稚園の駐車場から走り出した瞬間から安全運転の責務が発生します。全職員で心と身体の健康に留意し時間にゆとりをもって行動します。

大切な子どもの命を預かる幼稚園、子どもの命を守る自覚をしっかりとをもって運行します。

### <園の安全体制>

- マニュアルなどについて全職員に周知・徹底し定期的に研修する
- 通園バスのマニュアルを保護者と共有する
- ヒヤリ・ハットに気づいた職員は、すぐに園長へ報告する
- ヒヤリ・ハット事例について全職員で共有する
- 報告しやすい雰囲気づくりをする
- 再発防止策を早急に講じ、改善する
- 月一回 理事長又は園長は、バスに同乗し動作確認、車内設備確認、安全確認をする  
(毎月9日)

# バス運行・添乗マニュアル

## <1 安全確保への対応>

### (1) 事前準備

- 出勤確認（理事長）
- アルコールチェック  
（運転手・・・理事長、園長、教務が、確認しバインダーに時刻・数値、担当者を記録）
- 0.07mL/L 以上が2回連続計測されたら口頭質問（ろれつ確認）  
開眼片足立ち20秒（左右足）  
始業前バス点検（運転手）
- ブレーキ、ライト、ブレーキランプ、タイヤの確認
- 清掃
- 携帯電話・ココセコム端末の車内への設置
- 当日の欠席者確認（運転手と添乗員は、ホワイトボード・電話確認、乗車名簿に反映）
- バスが、出発後の欠席・遅刻者の確認 連絡が来たら携帯電話で受付添乗員が、通園バス人数確認表に転記する  
そしてすぐ運転手に伝達する

### (2) バス遅延発生への対応 \* 予定時刻より5分を超えた場合

- 渋滞や工事などで渋滞が発生した場合、添乗員は幼稚園に携帯電話で連絡
- 幼稚園より保護者へメール連絡または電話連絡

## <2 登園時の対応>

### (1) 乗車時

- 添乗員が、乗車時は携帯電話・ココセコム端末・バスバインダーを常備する
- 園児乗車時 添乗員よりあいさつ・名前の確認・アルコールスプレー消毒 マスク着用
- 添乗員と園児が、元気よくあいさつを交わす

- 添乗員は、検温表確認（37.4度以下であることを確かめる）
- 保護者は、通園ランドセルの中に検温表をしまう
- 添乗員が園児の手のひらに消毒する→チェックシートに記入
- 添乗員が園児の手を持ち、ステップを安全に上がらせ決められたシートに着席させる
- 通園バス人数確認表に当該園児欄に○を付ける
- あいさつをして、園児用入口ドアを閉める

## (2) 降車時

- 運転手・添乗員が、園児の降車確認・忘れ物確認をする
- 理事長・園長・その他教職員が降車した人数を確認する

## (3) 降車後

- 添乗員は、伝達（重要）事項を幼稚園教職員に連絡・欠席聞き取り
- 職員室にて保護者から預かった連絡帳を確認
- 必要がある場合 預かり保育表に園児氏名 終了時刻・なかよしバス記入
- 連絡帳をクラスへ該当日時のページを開いて教卓の上に置く
- バス表を半分切り取りホワイトボードに掲示
- 添乗員は、園児シートの消毒をする→チェックシートに記入
- 降車確認（桃赤 青緑 藤バス3台）理事長、園長、教職員
- 運転手は通園バスの窓を少し（約5cm）開けた状態で施錠
- 運転手はアルコールチェックをする
- 添乗員は、通園バス人数確認表を職員室ホワイトボードに掲示する（青緑・桃赤・藤バス）

## <3 降園時> \*1便・2便・藤バスも同様の運行

### (1) 事前準備

- (1) 事前準備・・・アルコールチェック、始業前点検（ブレーキ、ライト、タイヤの確認）
- 携帯電話、ココセコム端末を車内へ設置してあるか確認
- 午後2時（桃赤・青緑）出発前、添乗員が幼児の点呼が終了したことを確認し待ちバス

門が開いていることを確認して発車する

- 縦列駐車しているので、発車する前に後ろのバスの人員確認がとれたことを確認門係の合図を待ち運転手は左右の安全確認し駐車場より車道へ出る  
(2便も1便同様、バス駐車場より出発)

## (2) 降車時

- 発車して順次バス停まで走行する(2便 赤・緑バスも、バス駐車場より出発する)
- こどもは、所定のバス停で順次降車
- 添乗員は、バス停に着いて車内で名前を呼び、顔を確認して園児が安全に下車させる
- 幼稚園登録の保護者カードを持参している保護者に引き渡す
- 添乗員は運転手に合図を出し出発する

## (3) 降車後

- 添乗員は全員降車させ、降ろし残しがないか確認し運転手もそれをおこなう→チェックシートに記入
- 降車確認を教職員に告げ理事長、園長、教務が見回りをおこない異常の有無を確認する

## <4 走行中>

- 交通法規の遵守
- 法定速度を守る
- 幼稚園や学校などの付近は最徐行 時速 10Km
- 安全運転に集中し両手で運転する

スローガン

「まず 止まれ」

## <交通ルール再確認事項>

### 1, 歩行者最優先

## 2, 横断歩道前最徐行（時速 10 km）

## 3, 走行中信号機黄色は止まれ（前後をよく確認）

### <5 事故への対応>

- 園児職員の負傷などがいないか確認する
- 運転手、もしくは添乗員は、携帯電話にて警察・消防署・幼稚園へ連絡をする。
- 警察 110 番へ通報
  - 「相模すぎのこ幼稚園の通園バスが事故をおこしました。けが人はいませんなど」
  - 事故現場近くの電柱・住宅の表札・スマートホンの位置アプリや通行人に尋ねるなどして住所や目印等を伝える
- 運転手、もしくは添乗員は、負傷した園児もしくは火災が発生している場合、初期消火し携帯電話から 119 番通報する
- 運転手、もしくは添乗員は状況を瞬時に判断し応急手当をする（心臓マッサージ、圧迫止血等）
- 運転手、添乗員は安全な場所に園児を避難誘導する。また近くの通行人・商業施設の人に援助を求める
- 運転手、添乗員は場合によりココセコムを押し警備員の要請をする
- 運転手、添乗員は幼稚園に連絡し、事故後の対応について相談する
- 現場へ理事長又は園長が向かう
- 園児送迎のため代車を出す
- 家庭への連絡をする（電話・メールなど）
- 保護者へ事故説明をする

### <6 こどもたちへの支援>

- 大人が万全の対応をすることで、こどもを絶対に見落とさないことが重要です。緊急時には、外部に助けを求めるための行動がとれるよう、こどもの発達に応じた支援をする
- 通園バスに乗ることに不安を与えないよう十分留意していきます
- 園児が自分の命を守れるよう、バス訓練（クラクション等）を行う

### <7 嘔吐時の対応>

- 車内の嘔吐であるため落ち着いて対応する

車の中に嘔吐処理セットを常備、不足がないか常に点検を行う（毎月9日）

#### <嘔吐処理セット>

- ・手袋・新聞紙・トイレットペーパー・ぞうきん・消毒液・ゴミ袋・タオル
- ・バスタオル（こどもの身体の保護）・ビニール袋（黒色）・紙袋（衣服持ち帰り用）

### (1) 嘔吐した園児への対応

- 走行中は、停車した際に添乗職員が移動する
- 嘔吐した人への対応として、口のまわりを拭き、再度嘔吐する場合があるので、エチケット袋を持たせる
- 衣類が嘔吐でひどい場合は、上着を脱がせバスタオルで温める
- 落ち着いてから、幼稚園へ連絡し、理事長又は園長に報告する
- 園より保護者に連絡をする

### (2) 周囲への対応

- 窓を開け、園児を嘔吐したこどもから離れて座らせる
- 嘔吐物にタオルや雑巾をかけ、その上から消毒液をかける
- 停車等し安全確認をしながら、嘔吐処理をおこなう

### (3) 幼稚園到着後

- 嘔吐した園児の検温、衣類交換、口をゆすぐ、なかよし教室などに隔離する
- 状況確認後、保護者に連絡をする。

### 留意点

- 嘔吐した人の周囲にいた人達は、3日間くらい症状がでないかを観察し家庭にも依頼する
- 感染拡大防止のため嘔吐処理をする場合は、作業用の使い捨てエプロン、手袋、マスク等を着ける

- ドアノブなど触ったところは終了時に消毒する
- 終了時に必ず石けんと流水で手洗いを十分に行う
- 汚染区域にあるものは区域外に持ち出さない

## <8 排泄時への対応>

- 運転手は、コンビニエンスストアなどに駐車し、添乗員が当該園児をトイレに連れて行く
- 年度はじめに協力を依頼しておく
- 借用後、理事長もしくは園長が御礼を電話・訪問などして伝える